広島市生活支援体制整備事業広報紙　第１５号（令和６（２０２４）年３月発行）

ひろしまええとこ通信

題字：東区「うぐいす共同作業所」山中剛範さん

広島市各区では、様々な取り組みが実施されています。
広島市各区の“ええとこ”を担当生活支援コーディネーターから報告します！！

地域のええとこ紹介コーナー「Wa!それええね!!」

「安佐北区サロン研修会・交流会」を開催しました！

令和５年１２月１５日（金）に令和５年度地域高齢者交流サロン運営事業・地域介護予防拠点整備促進事業「安佐北区サロン研修会・交流会」を開催しました！

安佐北区では、コロナ禍になってサロン研修会・交流会を実施できておらず、久しぶりの開催となりましたが、１９団体３１名が参加されました。

恵谷　裕三さん

前半は研修会として、NPO法人ひろしまレクリエーション協会の恵谷裕三さんを講師に迎え、「心と身体が元気になるサロン活動を目指そう！」と題して、明日からサロン活動に役立つ簡単なレクリエーション活動の体験を交えながら、サロンの意義や役割について説明をしていただきました。

講師の話術、表情、声のトーンも相まって、自然と参加者が笑顔になるような楽しい雰囲気の中での、学びとなりました。

後半は交流会として、①講師のお話を受けて、サロンで取り入れられること②他のサロンに聞いてみたいことをグループワークで意見交換し、予想以上に話が盛り上がっていました。

レクリエーションの体験の一場面

最後に講師からの総評で、「サロン活動は生涯学習である。」

・S　そこそこ
　　１００%頑張らない。
・M　まあまあ
　　全員からの１００点はもらわなくても、２～３人からの１００点でいい。
・T　たのしく
　　自分のものさしを大切にする。
　　１００%を求めると燃え尽きてしまう。
　　いいかげんにやることも大切で、
　　自分がやっていて面白いこと。得意な分野を伸ばしてサロンを充実させてほしい。

という「サロンのSMT」の話をしていただきました。

グループワークの様子

サロン研修会・交流会終了後、参加者から「楽しかった」「ためになった」「さっそくサロンで今日習った体操を取り入れたい」とお言葉をいただき、大変好評でした。

今後も地域のサロン活性化のため、研修会・交流会を実施していきたいと思います！
生活支援コーディネーター　山下・岡

「令和5年度広島市住民主体型生活支援訪問サービス実施団体研修会兼交流会」を開催しました！

3つの会場をオンラインでつなぎ
みんなで記念撮影！

令和６年１月３０日（火）、広島市住民主体型生活支援訪問サービスの実施団体を対象とした研修会兼交流会を開催しました。

実施団体２５団体４６名、地域包括支援センター、地域支えあい課１６名と、多くの方が参加されました。

研修会「生活支援上のリスクマネジメントについて」

講師の話を聞き、リスクマネジメントの必要性を再認識しました

研修会では、社会保険労務士・社会福祉士の岡崎晃さんを講師に迎え、生活支援上のリスクマネジメントについての話をしてもらいました。

みなさんの活動の中にどのようなリスクが潜んでいるのか、どのような対策を立てることでリスクを防ぐことができるのかを考えるよい機会となりました。

また、グループワークの時間を設けながら、活動時に気をつけていることなどを共有し合いました。

「活動の安全のためにリスクマネジメントを活用する」、「漠然としたリスクを明確にリストアップすることが必要」など参考になったと感想を多くいただきました。

社会保険労務士
社会福祉士
岡崎　晃さん

西会場

グループワークでは、各団体の活動の様子やボランティアコーディネートまでの具体的な流れなどを共有することができ、有意義な情報交換の機会となりました。

西会場のみなさん

参加者の感想

【佐伯区楽々園学区社会福祉協議会　ぼちぼち応援隊 大原さん・山本さん】

区を越えて情報交換ができ、様々な活動のヒント（ICT の活用やマグネット PR 等）を得ることができました。特に立ち上げの際にお手伝いさせてもらう等やりとりのあった他区の団体と再会し、近況報告し合えるのは、とても良い刺激となりました！こういった場は是非、定期的に開催してもらえると嬉しいです。

また、今回の交流会に出席して、改めて生活支援サービスには信頼関係が大事だと感じました。リスク回避と同時に、継続した支援での顔の見える関係づくりが地域での安心した暮らしにつながると思い、これからもまた“頑張ろう”と改めて感じる場となりました。

大原さん　　　山本さん

東会場

『活動における様々な基準について』『団体の運営について』『広報について』『人材育成について』の４つのテーマの中から、関心の高いテーマを選んでいただき、グループワークを行いました。

区を越えた団体同士の意見交換・情報共有の機会は少ないため、どのグループも活発な話し合いが行われていました。

終了後のアンケートでは、「今まで大きな苦情はなかったが、広くリスクの予想をしないといけないと思った」「問題の解決に王道はなく、トライ＆エラーを重ねていくしかないと感じた」など、前向きな感想を多くいただきました。

それぞれの団体の活動を引き受ける際のルールについて、事例を交えて情報交換をしました。

東会場のみなさん

安佐北会場

グループワークでは、地域包括支援センターとの連携についてなどそれぞれの団体の取組について情報共有しました。地域包括支援センターの職員にも参加してもらうことで、より一層の連携が深まりました。

活動に対する想いを聞き、みなさんの助け合いの気持ちと行動する力があってこその活動であることを実感しました。

この交流会が各々の地域性や立場を認め合い、更なる地域貢献の活性化に向けた機運を醸成できる場になれば幸いです。

安佐北会場のみなさん

地域包括支援センター職員も交えて実施団体の取組や工夫、今後の連携について情報交換をしました。

「広島市住民主体型生活支援訪問サービス」とは…

「介護予防・日常生活支援総合事業」（介護保険事業）で実施する訪問型サービスの一つです。地域包括支援センターと連携を図りながら、地域に暮らす高齢者の「ちょっとした困りごと（草むしりやゴミ出し等）の支援をしています。

令和６年２月現在、４１の地域団体が本事業に取り組んでいます。

住民主体型生活支援訪問サービスを含む３つの取組を行う団体を募集します！

広島市では、「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施し、地域活動を応援しています。
その中で「住民主体の取組①～③」を行う団体を公募し、選定された団体に運営費等の一部を補助しています。
詳しくは市・区生活支援コーディネーターへお問い合わせください。

① 地域高齢者交流サロン運営事業

② 地域介護予防拠点整備促進事業

③ 住民主体型生活支援訪問サービス

～申請受付期間～

令和6年4月1日(月)～令和6年4月26日(金)

※③のみ応募状況により7月・10月にも再募集する可能性あり

安芸区のサロン
紹介するけぇね～見ていきんさいよ～

介護予防・日常生活支援総合事業の地域高齢者交流サロンの紹介を行いたいと思います！
安芸区にはさまざまなサロンが日々活発に活動されております。
今回ご紹介するのは「塚地女性サロン」と「荷場片山サロンクラブ」です。

塚地（つかじ）女性サロン×個人への想い

地域にお住いの高齢者の方が、立って歩く機会や外出機会が減り、介護サービスを利用することになられたことから、その方に「少しでも元気になってほしい」との思いで、地域包括支援センターも含めて話し合い、会の立ち上げに至ったそうです。

その方のお宅を借りて、毎月１回、現在はフラワーアレジメントや茶話会等を行われており、みなさんの笑顔とお話の場になっていました。その方はお茶菓子用の入れ物を折り紙で作成してくださるなどの役割を担っておられ、みなさんが集まることを楽しみにしている様子がうかがえました。

個人への想いがその方の居場所やつどいの場になり、それがさらに他の方の居場所になる。サロンが立ち上がるきっかけは様々ですが、ひとつひとつに想いがあることを感じました。

生活支援コーディネーター
津村

荷場（にば）片山サロンクラブ×船越カルタ

船越地区にある荷場片山サロンクラブでは、“船越カルタ”をサロンで行いました。

船越カルタとは、船越地区民生委員児童委員協議会が作成されたもので、船越の歴史や建物をカルタにして、イラストと読み札も全て手作りです。イラストが手書きなので、色使いも温かくほっこりした気持ちになりました。

荷場片山サロンクラブで船越カルタをしたときには、「とんどは昨日あったよね」「請田の女みこし見たことあるよ！」「この頃、合併したんじゃね～」と声が聞こえてきました。カルタをしながら、思い出を語り合い、和ましい雰囲気でカルタを終えることができました。

船越カルタは、地域の保育園や町内会にも配られています。地域の神社「岩瀧神社」や船越の花「たれゆえ草」などカルタを通して、子どもたちも地域のことを知るきっかけにもなるのではないかと感じました。

生活支援コーディネーター　蠣崎

＜各地で実践されている“ええとこ”をお寄せください！＞

地域活動に関する耳寄りな情報を教えていただき、定期的に発信していくことで、「ひろしまのええとこ」をみんなで共有できる情報紙を目指します。耳寄り情報は、市・区社協にいる生活支援コーディネーターへご連絡ください！

発行：社会福祉法人広島市社会福祉協議会　地域福祉推進課　地域共生係
〒732-0822　広島市南区松原町５番１号　広島市総合福祉センター内
TEL：082-236-6172　　FAX：082-264-6413
Ｅメール：kyousei@shakyohiroshima-city.or.jp